

# 品川郷土の会 会報

令和4年(2022)3月

復刊第122号

発行人坂本道夫

編集人野口健夫

## 第468回例会開催

新型コロナ蔓延防止措置収束直前の三連休初日、3月19日(土)午前中小企業センター3階小会議室で第468回例会を開催しました。テーマが馴染みにくく、彼岸も重なり、午前中でもあり7名の参加となりました。

### 漢字のはじまり 甲骨文字いろは 副会長 野口 健夫

今回は、余り話題に上がることのない、古文書解読以前にその母体となった漢字の起源を紐解きました。紀元前1600年頃は、自然の恵みが豊富で食糧事情の良かった日本では大森貝塚が興隆していた縄文時代の晩期に、乾燥地帯で食糧確保に注力していた中国では既に殷王朝(商)が成立しました。



講師 野口副会長

青銅器時代に入った殷王朝後期、占いの際、使用していたのが、甲骨文字です。今から3000年以上前の文字ですが、中国では竜骨という漢方薬としてその存在は知られていましたが、

「漢字のはじまり」として認識されたのは未だ100年前の1900年頃です。

高校の教科書には「王国維らの研究により、半数の文字が解読された」とありますが、中国以外の欧米や日本の研究者(落合淳思、島邦男、白川静、藤堂明保、加藤常賢…)も解読に注力し、現在までに4500以上の漢字が解読されていますが語義解釈は未だ異論もあり定まっていません。甲骨文字のイメージは、良く知られているともいますが、今回は語義、語源まで踏み込んで一歩進めた基礎知識を門外漢の副会長が紹介しました。

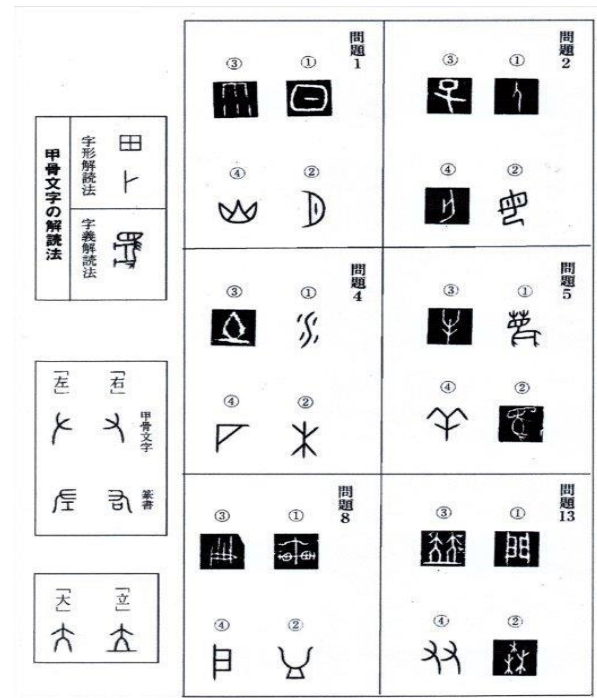
### 漢字の成立と変遷

- ◎ 二里头文化(前20～前16世紀)  
⇒ 記号のある陶器片。文字の成立?
- ◎ 殷(前16～前11世紀)  
⇒ 甲骨文字⇒初期金文
- ◎ 西周(前11～前8世紀)  
⇒ 金文(主に青銅器記載)
- ◎ 春秋戦国(前8～前3世紀)  
⇒ 古文、籀文(ちゅうぶん)、竹簡
- ◎ 秦～漢(前3～後3世紀)  
⇒ 篆書(てんしよ)、隸書(れいしよ)
- ◎ 三国～南北朝(2～6世紀)  
⇒ 楷書、草書・行書  
許慎『説文解字』(西暦100年)成立  
⇒ 日本仮名、西夏文字、契丹(きったん)文字、  
女真(じょしん)文字、チェノム文字、女書…

## 甲骨文字とは

- 甲骨文字は何処に書かれたか  
文字通り、淡水亀の腹甲や牛の肩甲骨に描かれています。
- 何に使ったか  
もっぱら王朝での占いに使ったものが遺されています。占いの内容は「祭祀」、「軍事行動」、「収穫」、「狩猟」、「天候」、「行動」、「災厄」などです。日本にもこのやり方は弥生期以降流入し神事で同様な方法が行われた記録があります。記録の無い庶民がこのような漢字を使用したかどうかは遺構が無く不明です。
- 現代の漢字との繋がり  
前述のような変遷はありますが、かなりの文字は、形態が簡素化されながらも、存続し、現在なお、われわれは使っています。変換経緯の不明なものも多い。
- われわれでも読めるか  
文法的には漢文と同じなので、文字を解読できれば意味も解読できます。甲骨文字は仮名釘流なので、異体字は多いですが読むことも、意味を知ることできます。語義・語源は不明点が多い。
- 改竄するか  
いつの世もトップは都合の良いように占いの内容を改竄した痕跡があります。矛盾していますが自分を占うことも多く、その時は改竄しないのは今も同じ。
- 修正するか  
プロが青銅の彫刻刀で彫るが、専門書記でも彫間違いはあり、削って前彫り部を消し、再彫した痕跡が残っています。
- 書き順  
上から下が基本だが、エジプトの象形文字ヒエリグリフ同様自由度がある。右から左へ区こともあれば、左から右に書く

こともあります。単独の字でも、鏡文字が許され、組み合わせ文字では配置が異なる場合もある。現在の、嶋、鳶の使い分けと同様です。



単漢字の具体的な例



庚申文字記載のある甲骨片

大井図書館歴史講座  
『海をのぞむ品川の寺々』

講師 柘植 信行 氏

3月6日午後2時から品川歴史館2階講堂で、大井図書館恒例の歴史講座が開催されました。品川にはどうして中世の寺院が多いのかを紐解いた中世史専門の柘植先生の講演です。

品川宿周辺の寺社は、東海寺などを除けば鎌倉道下道に面して中世創建のものが多く、大井氏・品河氏の興亡期を境に北と南に分かれ、寺社の創建中心は南から北へ移動し、北には鎌倉仏教が揃っている。南にある寺社は丘陵地、北にある寺社は海沿いの低地という特徴がある。



「東海道分間延絵図」でみた、鎌倉古道(鎌倉下道)沿いの大井の寺々

(仮称)荏原郷土史協議会 定例連絡会

3月16日午後荏原第五地域センター2階会議室で開催され、当会他、大田区郷土の会、世田谷区誌会、目黒郷土研究ふすま会の7名が参集し、各会の現況報告を行い情報交換しました。保留だった名称は「城南郷土史協議会」に決定しました。次回は6月15日(水)開催の予定です。

寄稿

記憶から消え去る思い出のスポット

副会長 野口 健夫

寺社や遺跡の類でない映画館、演芸場、プール、ボーリング場、スケート場、ビリヤード、矢場などの娯楽施設、ホテル、旅館、料亭などは記録が少なく忘れ去られてしまっていますが、間違いなく近代遺産の一部です。今回は、大井の2ヶ所を取り上げ紹介します。

大井6丁目にあったボーリング場

大森駅から池上通りを大井町方面に歩いて4分位の大森操車場の所に第二次ボーリングブームの昭和43年(1968)頃、「後楽園大森ボーリングセンター」が出来ました。当時の住宅地図によると敷地内には従業員宿舎まで完備しています。その後、「大森とうきゅうスポーツプラザ」と改称し、平成12年(2000)5月27日に閉館となりました。最後まで、ボーリング・ビリヤード・フィットネスクラブ・レストラン・ゴルフ練習場を営業していました。創業当時は2時間待ちの盛況で、ビリヤードや卓上ゲームで時間を過ごしていました。



平成12年(2000)6月 解体前



平成 13 年大森駅付近にあった案内看板

### 大井 1 丁目にあった中華料理店 春秋園

現在、大相撲春場所が大阪で開催されています。かつて相撲界を震撼させた大井町が舞台の春秋園事件は相撲界では有名です。

1 月場所前に、関脇 天竜三郎、大関大ノ里以下出羽海部屋の西方全関取たちが、大井町の中国料理店「春秋園」に立てこもり相撲協会の体質の改善、力士の待遇の向上などの 10 箇条を要求し、大日本新興力士団を結成しました。これに続き、東方の関取の幾人かも脱退して革新力士団を結成し、後に両団体は合併し大日本相撲連盟が結成した。

天竜たちの新興力士団が翌 2 月に根岸で旗揚げ興行し多くの観衆を集め大成功した。

一方、相撲協会は 2 月に国技館で 2 月場所を行ったが人気力士が多く抜けたことなどで観客の入りは少なく、不人気だった。

多くの関取が力士の地位向上や協会の体質改善などを要求し離脱したが、主張が受け容れられず、新団体の内部分裂も発生し、翌昭和 8 年(1933)初めに多くの力士が帰参した。その後、大ノ里、天竜らは関西角力協会を設立し関西を拠点に興行したが、相撲協会が双葉山らの台頭で人気を取り戻し帰参力士も増え、昭和 12 年(1937)に解散した。

春秋園事件以前にも、力士たちが決起した事件はいくつか起きていたが、春秋園事件以後、力士によるそのような事件は起きていない。



春秋園に立て籠った力士たち



春秋園時代の煉瓦塀跡が残る駐車場  
(後ろがルートインホテル)

### 旧大井鎧町(大井 1 丁目)の遊戯施設

昭和 30 年代、旧大井鎧町には、地図左矢印で示す位置に武蔵野館(映画館)、地図中央矢印で示す立会川上にかんベスケート場(ローラースケート場)、地図右端矢印で示す位置に新世界プール(遊泳場)があり、賑わっていました。間もなくローラースケート遊びも廃り、テレビに追われて映画も廃り、公営プールやスイミング教室に追われて民間プールも姿を消しました。地図で青く囲んだ建物は、現存する商店や企業なので、道路位置は多少移動していますがこれを頼りに位置関係を確認することができます。春秋園跡地は住宅が建て込んでいて規模の確認は難しいようです。



昭和 30 年代旧大井鎧町住宅地図部分

(蒲田-久が原間所要時間約 8 分)

会 費：500 円

案内者：会長 小山 一成

散策コース：午後 1 時 10 分出發

白山神社⇒稲荷神社⇒天祖神社

⇒観蔵院正善寺⇒御嶽神社⇒解散

(午後 2 時 30 分頃の予定)

◇注意：①体温測定実施 ②マスク携帯 ③水分補給の為の飲料ボトルの携帯 ④軽装・歩きやすい靴での参加

【担当】〒146-0085 大田区久が原 3-3-30-9  
小山一成 方(Tel.03-3751-1137)

## 当会に関連した催し情報

### 世田谷区誌研究会 講演会

#### 『江戸の建設と拡張』

講 師：世田谷区誌研顧問 濱中 正之 氏

日 時：令和 4 年 4 月 7 日(木)1 時 30 分

場 所：三茶シャレナードのオリオン(5 階)

世田谷区太子堂 2-16-7 tel03-3411-6636

時 間：1 時 15 分開場 1 時 30 分-90 分

費 用：一般 500 円

人 数：先着 100 名

申 込：HP kushiken0817@yahoo.co.jp

Tel 080-3727-0817

(申込時品川郷土の会と記載)

### 大田区郷土の会

#### 『大田区 久が原周辺 散策』

日 時：3 月 26 日(土) 午後 1 時 (厳守)

※雨天・小雨の場合は中止。

集 合：東急池上線久が原駅 改札口附近

### 国立歴史民俗博物館 企画展示

#### 『中世武士団 地域に生きた武家の領主』

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)では、上記の企画展示を 2022 年 3 月 15 日(火)～5 月 8 日(日)まで開催しています。入場料は 1000 円で祝祭日は事前予約制です。

大河ドラマで注目される中世ですが、当時の武士は、世襲制の職業戦士であるとともに、地域の支配者(領主)としても存在しました。中世武士の地域支配は、武士個人の力量によって実現したわけではなく、主に一族と家人によって構成された武士団という集団(組織)を形成することで実現しました。そのため本企画展示では、武士団を戦闘集団ではなく「領主組織」という観点から捉えます。13 世紀～15 世紀を中心に、中世の文献・考古・美術資料のほか、絵図・土地台帳や現地調査に立脚した具体相を展示しています。中世の千葉県を中心に活躍した、石見益田氏・肥前千葉氏・越後和田氏を主に取り上げています。

(HP：<https://www.rekihaku.ac.jp>)

## 郷土・郷土史関連図書情報

品川区内地域や郷土史に関連した図書を紹介します。興味のある方は、書店等で入手するか近くの公立図書館などで閲覧下さい。

### 1. 江戸前の海の物語

縄文時代は現在の海岸線から70キロ内陸が「海」だった。1万2千年前から現代までの海と人の歴史や人の営みに魚類学者の視点で迫る。萬葉集や江戸期料理本に描かれた豊饒の海が、汚染された開発の海になるまでを地図やグラフとともに語る。縄文の海から現代までの東京湾と産業について記した図書。浅草海苔に関する言及もある。

著者：河野 博  
発行：原書房  
判型：B6判  
頁数：296頁  
価格：2640円  
発売日：2022年1月7日  
ISBN 9784562059935

### 2. 史観物語 武蔵燃ゆ

埼玉在住元教員郷土史研究家による自費出版です。埼玉古墳群の被葬者を武蔵国造と想定し、6世紀頃の无邪志(ムサシ)を古代史ロマンとして再現しています。物語は笠原直使主を中心に展開され、独自の考察と史実をもとに当時の様子を物語風に描いています。日本書紀以外の記録が少なく、伝承性が強く、事実が未だ明らかでない武蔵国造の乱の真相に迫ります。「多氷」については残念ながら在来の解釈を引用し「多摩」

に比定した記述です。もっとも著者自身は将来内容変更されるものと記しています。

著者 高垣 直澄  
出版社 東京図書出版  
価格 1300円(税込)  
頁数 178頁  
発売日 2022年3月3日  
判型 46版  
ISBN978-4-86641-504-8

### 3. 明治維新の研究

われわれが学んだ薩長史観とは一味異なる津田史観で、幕末維新の偉人を再評価しています。従来の薩長史観からすると怒り心頭の切り口かもしれません。明治維新は戦国時代に逆戻りして幕府を倒す行動に過ぎなかったと評価します。今ならそんな捉え方もあると受け入れる方もいる史観ですが、明らかに司馬遼太郎史観とは違う見方です。「実際はそうなのかもしれない!」と思わせる書きぶりは流石です。西郷隆盛、吉田松陰、勝海舟、徳川慶喜たち人間らしく欠点の多い人物として扱われています。明治以降の学校教育は薩長史観中心だったので、古い本にもかかわらず新しい史観と感ぜますが、堅苦しく読みにくい本です。

著者：津田 左右吉  
出版社：毎日ワズ  
発行日：2021年10月23日  
版型：46版  
頁数：297頁  
定価：1540円(税込)  
ISBN 9784909447173

#### 4. 歴史と地理がいきいきわかる東京 23 区大全

オンライン予備校「スタディサプリ」の人気・社会科講師による知られざる「東京都」を地区別に深掘しています。『品川区』に関して高々数ページ割いているだけですが、データと解説で徹底説明しています。人口、面積、歴史基礎情報(大森貝塚から中世、近世、現代まで)、区内の学校、経済(交通、企業、行事・祭り)、出身有名人、ご当地のトピックス など…良くもここまでと感心する内容で、従来の街歩き本とは一味違います。品川区の有名人の掲載に著者の好みが入っているのは御愛嬌でしょう。

著 者：伊藤賀一

発 行：SBクリエイティブ

定 価：1,045 円 (税込)

発売日：2022 年 3 月 5 日

サイズ：新書版

頁 数：304 頁

ISBN：978-4-8156-0605-3

#### 5. 1 日 1 ページ 意外と知らない東京のすべて 365

【月】歴史…東京の古墳、家康以前の江戸、上野戦争、東京都の誕生、東京オリンピックなど、【火】自然…坂、隅田川、疫病の流行、隅田川、ゲリラ豪雨、トウキョウが名につく生き物など【水】物語、『男はつらいよ』『AKIRA』『君の名は。』『俺ら東京さ行くだ』『耳をすませば』など、【木】商業・娯楽…庶民のグルメ、コンビニの登場、寄席、競馬

とボートレースなど、【金】暮らし・文化…七不思議、江戸っ子の「粋」、ペット、団地とニュータウンなど、【土】人物【日】まち、1 年 365 日に拘って分類した事典風解説書です。品川区関連では、『品川区』『大森貝塚』が取り上げられています。ここまで知らなければいけないかどうかは疑問ですが…。

著 者：文響社

発 行：文響社

定 価：2,695 円 (税込)

発売日：2022 年 3 月 3 日

サイズ：A5 版

頁 数：388 頁

ISBN：978-4-8665-1487-1

### 当会の関連行事について

#### 品川郷土の会

#### 年次総会兼第 469 回例会お知らせ

第 469 回例会を、下記の通り実施します。会場の都合で午前中になっていますのでご注意ください。講演内容や出欠確認は、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日 時：4 月 23 日(土) 13 時 30 分-

場 所：中小企業センター3 階小会議室

演 題：未定

講 師：未定

参加費：500 円(なお、年会費未納者は別途 2000 円をご準備ください)

(復刊 122 号おわり)